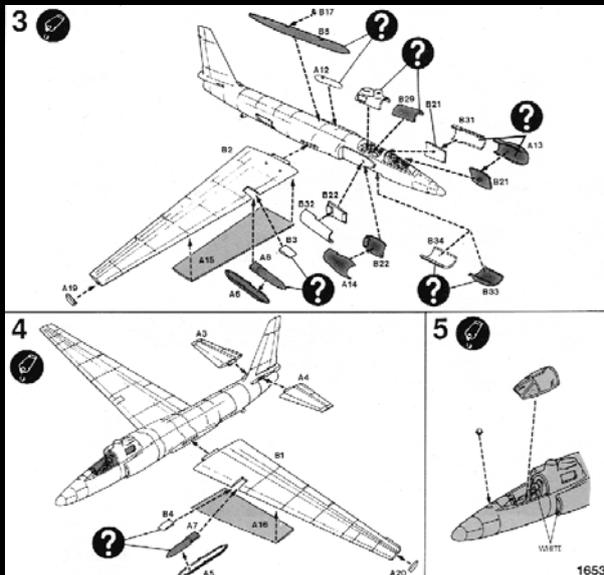


# 第23回 ロッキードU-2 (MINICRAFT) の巻



戦略偵察機という兵器は第二次世界大戦期、日本の彩雲艦偵や百式司偵等で確立しましたが、戦後この種の機体に最も積極的に取り組んだのは米軍だと思います。特に今回取り上げるU-2は元々ソ連の情報を収集する為にCIA(中央情報局)より発注された機体で、米ソ(ソビエト連邦)って今の子供には通じないかも... 冷戦時代の東西緊張の生き証人と云えるでしょう。1960年4月にスヴェルドロフスク市上空で撃墜されて機体とパイロットがソ連側に渡ったことから、それまで「雪解け」ムードだった米ソ間の緊張が一気に高まりました(詳細はこちらやこちらをご参照下さい)。歴史的知名度抜群のU-2ですが、プラモデルの類は大変少なく(存在が秘匿されていたので当然といえば当然だが、SR-71やF-117の立体の多さと比べると涙を禁じ得ない)、国産品は無かったように記憶しています。そんな中で或る日の事、行きつけの模型店でこのキットを発見し、安価な事もあるが即購入しました。恐らくは韓国製のキットで(ハングルがそれっぽい)、ステッカーにあるSUNNYは輸入代理店です。組立説明図はさすがにハングルではなく英語でした。



キットは凸モールドと凹モールドが混在しています。凸モールドを敬遠する向きもあり確かに作りにくいといえばそうですが、模型が存在しない事に比べれば全くもって些細な問題だと思います。このキットのインテーク・胴体上部・主翼前縁はコンパチパーツが付属します。しかし、その組み合わせ方が組立図からは全然わかりません(泣)。塗装パターンはお馴染みの黒一色のもの他に二色迷彩(FS25630とFS27780)のものが示されています。こんな迷彩の機体が果たして実在したのか、私には知る由もありません。ちなみに黒い方は下面の塗装図もあるのですが迷彩塗装の下面図は掲載されておらず、謎は深まるばかりです。でもって何故プロペラ派のワタシがU-2なのかと云えば、好きなんです、幅広くて細い主翼が。Ta152Hみたいで(爆)

## キットデータ

メーカー	MINICRAFT
スケール	1/72
当時価格	600円(税抜)